

日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

【病院】2023年9月29日 入院・外来医療等分科会 「病棟薬剤業務実施加算1（地ケア、回り八）」

作成：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美

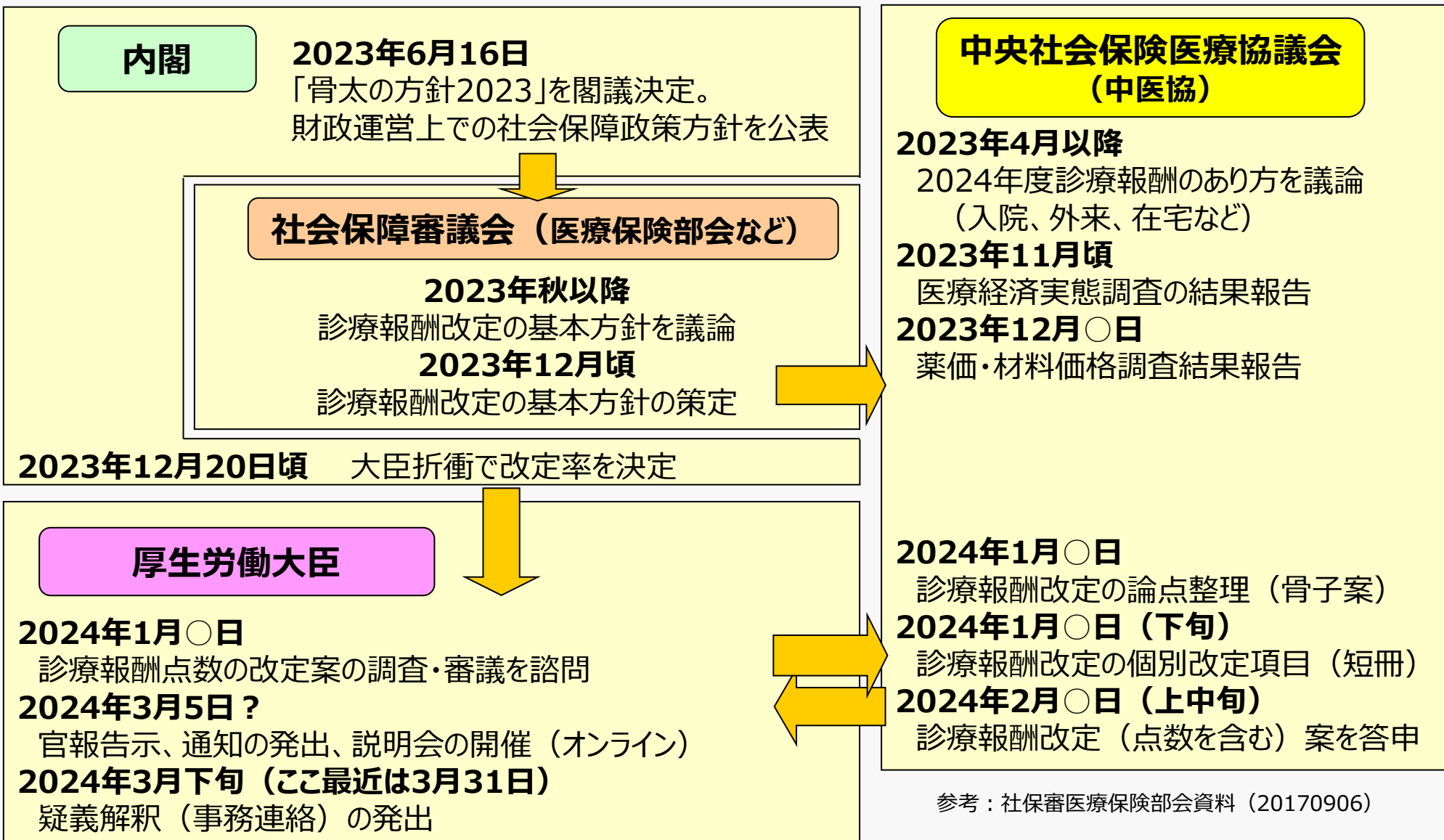
参考資料：2023年9月29日 入院・外来医療等の調査・評価分科会資料

資料No.20231004-2070(2)

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです
が、その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接
または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

- 2024年度診療報酬・介護報酬の同時改定に向けて、中医協総会においてテーマごとの議論が行われています
- 9月までに課題と論点の整理（第1ラウンド）が行われ、10月より個別・具体的な検討・議論（第2ラウンド）が実施され、例年、年明け1月に諮問、2月に答申、3月初旬に告示が行われます
- 9月29日の入院・外来医療等の調査・評価分科会では「医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進について」の現状や課題などが示されました
- 本資料では、**地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟における病棟薬剤業務実施加算1**について今後の議論のポイントとなりそうな内容を抜粋し、分科会での各委員から述べられた意見を要約しています

○診療報酬改定に向けて、社会保障審議会が方針を決定し、内閣が改定率を決定し、具体的な個別項目の改定についての議論は中医協総会とその下部組織で行われています



本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

○診療報酬改定についての議論は、中医協総会とその下部組織で行われ、入院に関する内容は、「入院・外来医療等の調査・評価分科会」で議論されています



(参考) 2023年1月18日中医協総会資料総-8 参考1より日医工(株)が抜粋、加工

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工(株)が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

【診療報酬・調剤報酬・薬価改定のスケジュール・案 (令和6年度)】

月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
R6改定 における 国の動き	中医協での 議論		2月上旬 中医協答申	3月上旬 関係告示等 3月下旬 電子点数表	4月1日 薬価改定		6月1日 施行	7月10日 初回請求						
								経過措置						
疑義解釈・変更通知等														

改定の後ろ倒しを検討する理由

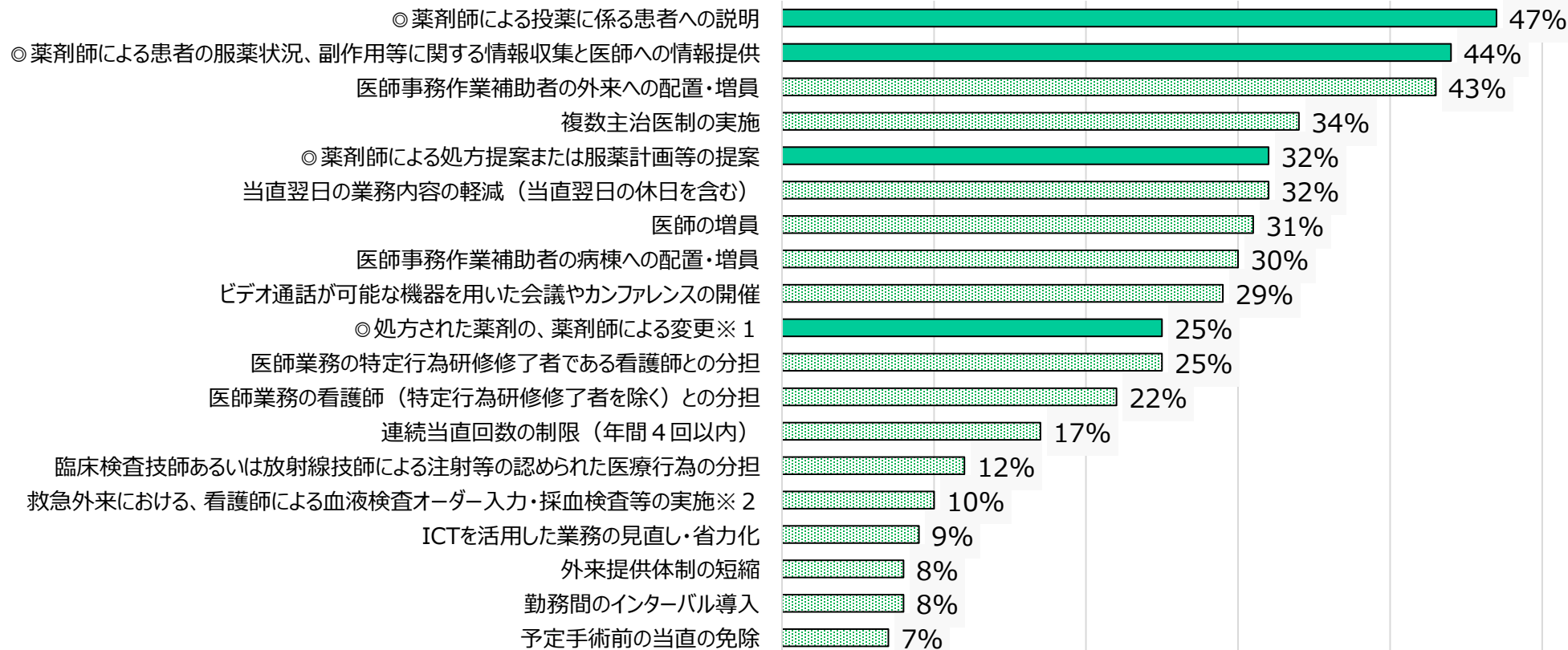
- 元々、3月初旬に告示通知を行い4月1日施行というタイムスケジュールではレセコン等のシステムベンダによる医療機関へのシステム提供がタイトである
- 疑義解釈等も告示通知後、直前（3月31日）まで行われることが多く、直前のシステムへの対応などシステムの無理が生じる可能性が高い
- 施行後の疑義解釈も多くあり、医療機関が提供する医療サービスにも影響がある

【MPSコメント】

- 令和6年度の薬価改定は、これまで通り、年度初めである令和6年4月1日より実施すると思われます
- 介護報酬改定については、介護給付費分科会で施行日を診療報酬改定と合わせて6月1日とするか、これまで通り年度初めとするかについて議論されています

○2024年4月から始まる医師の働き方改革（時間外労働時間の規制）に向けて、病棟薬剤師へのタスクシフト/シェアによる医師の負担軽減効果が示されており、病院薬剤師の業務に対する期待が高まっています。

医師の負担軽減策として所属している診療科で実施している、と回答した医師の割合（n=2,400）



※ 1 事前に取り決めたプロトコールに沿ったもの

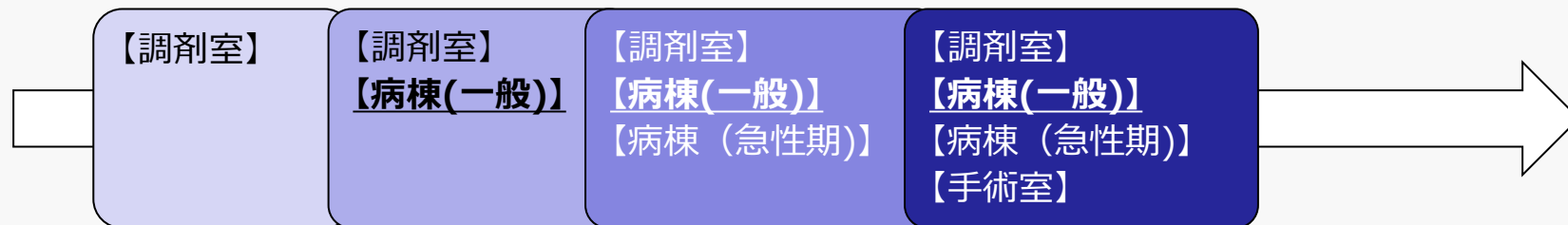
※ 2 医師が予め患者の範囲を示し、事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づくもの

(参考) 令和5年6月14日中医協総会資料を参考に日医工（株）が作成

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したのですが、その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

- 病院薬剤師業務の評価は、調剤室だけでなく病棟、手術室等へと徐々に拡大しているところです。
- 2022年度改定時の議論では、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟での病棟薬剤業務実施加算1の算定が検討されましたが見送られており、今回改めて議論されています。**

【入院患者に対する主な病院薬剤師業務評価の変遷】



1986年○調剤技術基本料

1988年○調剤技術基本料(・直接服薬指導)→1994年○薬剤管理指導料

2012年○病棟薬剤業務実施加算

2016年○病棟薬剤業務実施加算2 (集中治療室等)

2022年○周術期薬剤管理加算
○術後疼痛管理チーム加算

病棟薬剤業務実施加算1の主な基準と対象病棟

主な基準

- 医療機関に常勤薬剤師2名以上配置
- 病棟専任薬剤師の配置※
- 週20時間相当の病棟薬剤業務※

※全ての病棟で満たす必要有

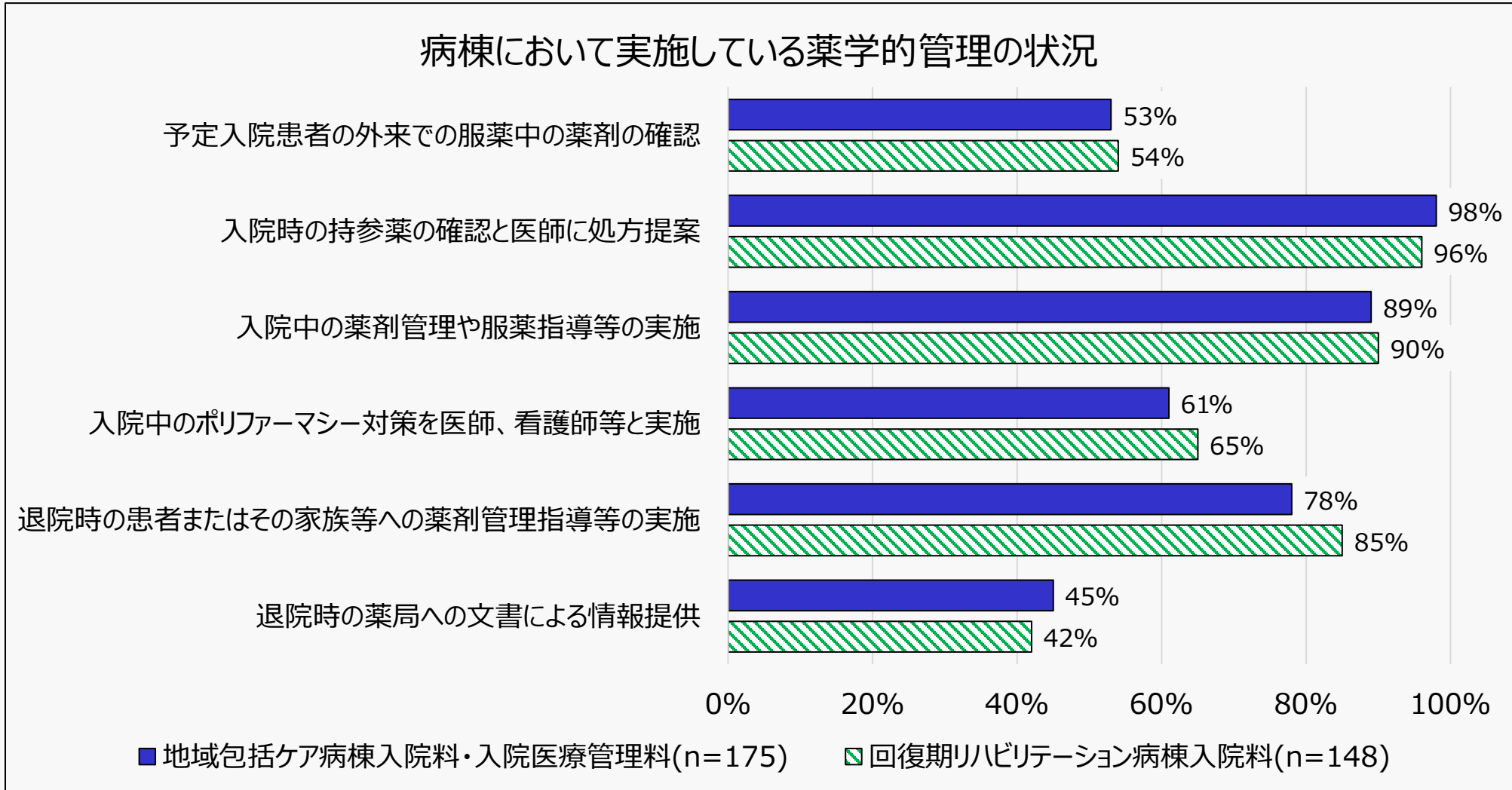
対象病棟

- ・ 一般病棟入院基本料
- ・ 療養病棟入院基本料
- ・ 精神病棟入院基本料
- ・ 特定機能病院入院基本料
- ・ 専門病院入院基本料
- ・ 小児入院医療管理料 (2022年度改定で追加)

(参考) 令和元年10月30日中医協総会資料を参考に日医工(株)が作成

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工(株)が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

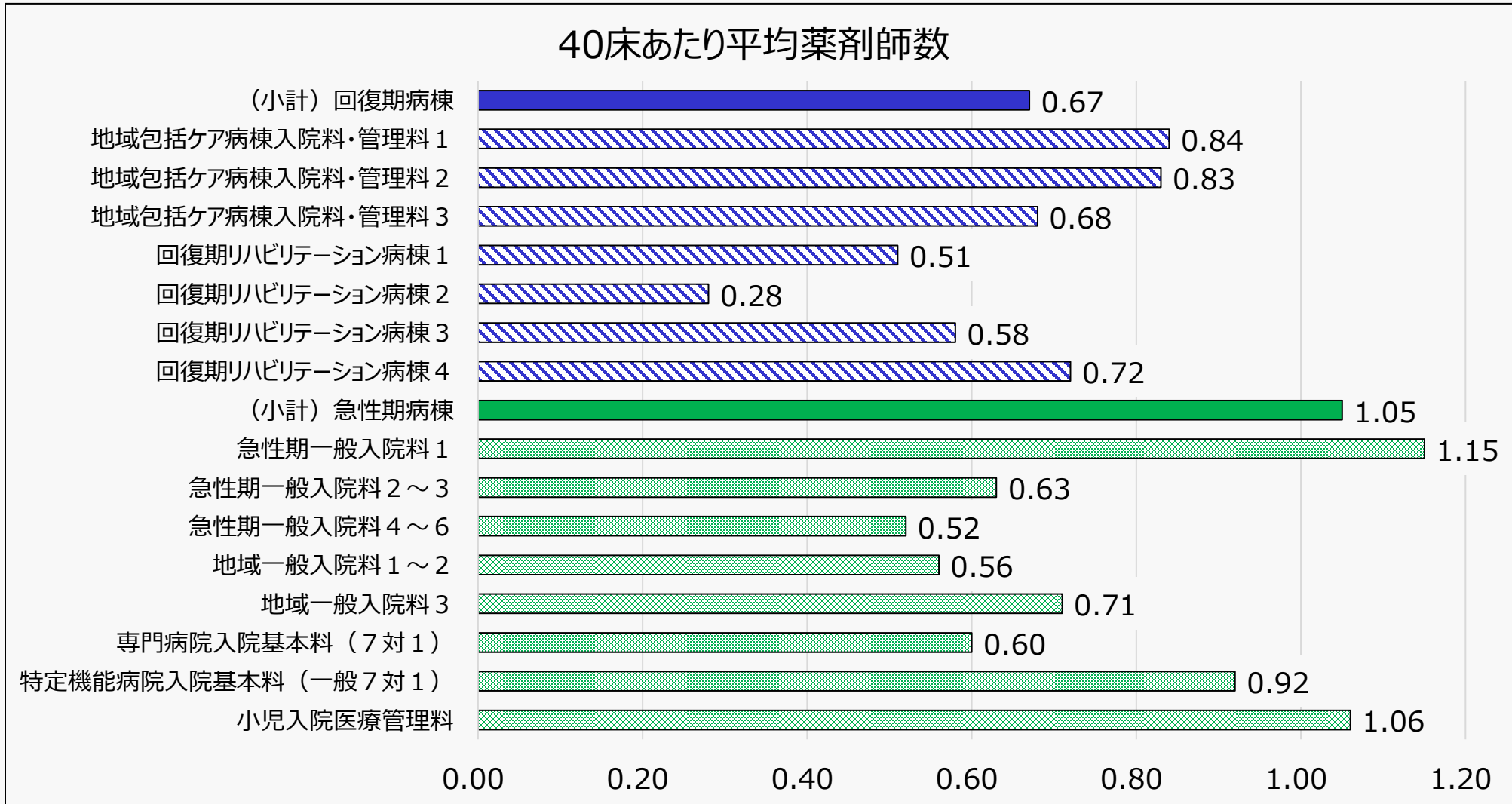
○回復期病棟（地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）では、全般的に薬学的管理が行われていますが、項目によって差があることが報告されています。



(参考) 令和5年9月29日入院・外来医療等調査・評価分科会資料を参考に日医工(株)が抜粋

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工(株)が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

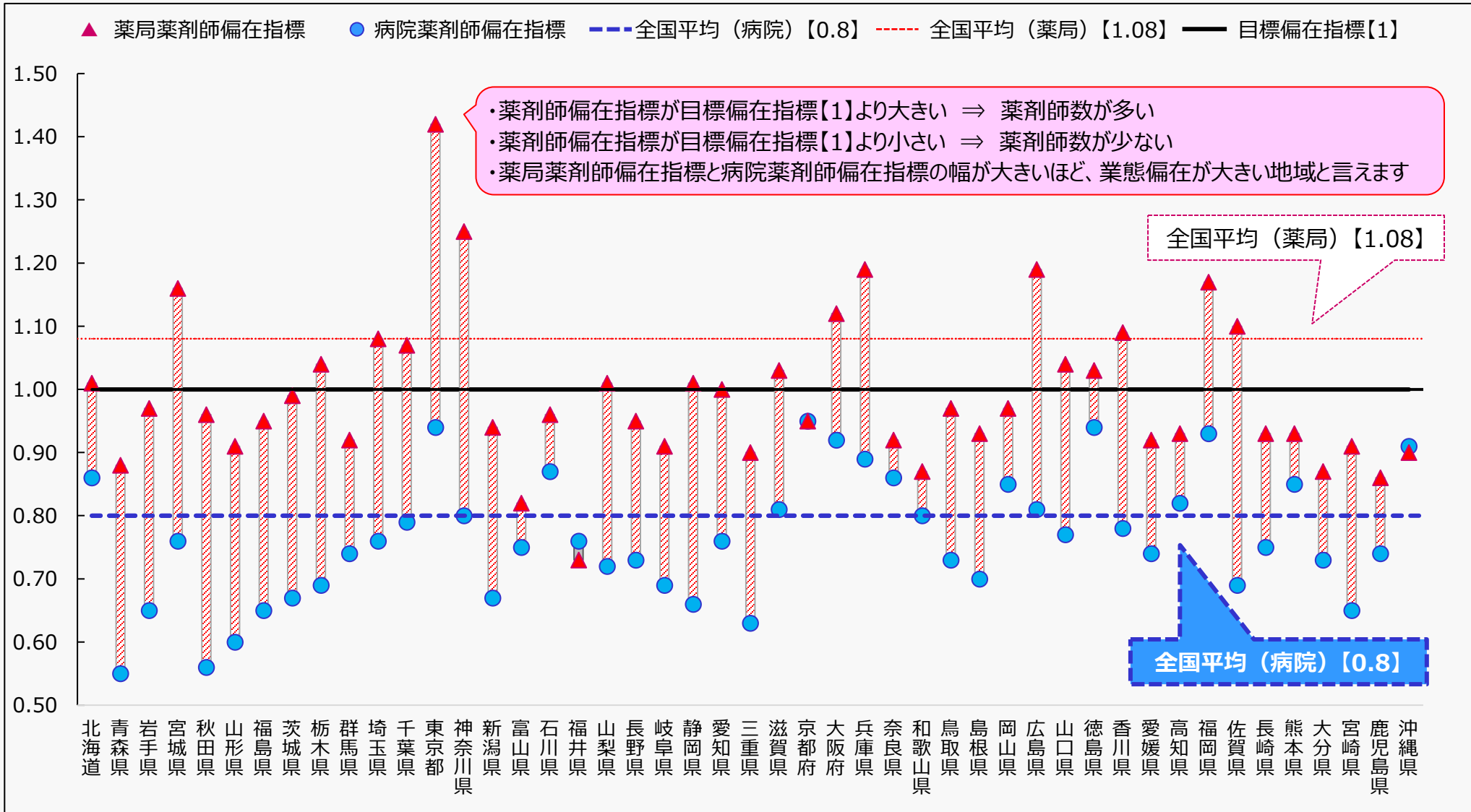
○40床当たりの平均薬剤師数を急性期病棟と比較すると回復期病棟（地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）では少ない傾向があります。



(参考) 令和5年9月29日入院・外来医療等調査・評価分科会資料を参考に日医工(株)が作成

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工(株)が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

○病院薬剤師業務が注目されている中で、薬剤師の業態偏在の解消が課題とされています



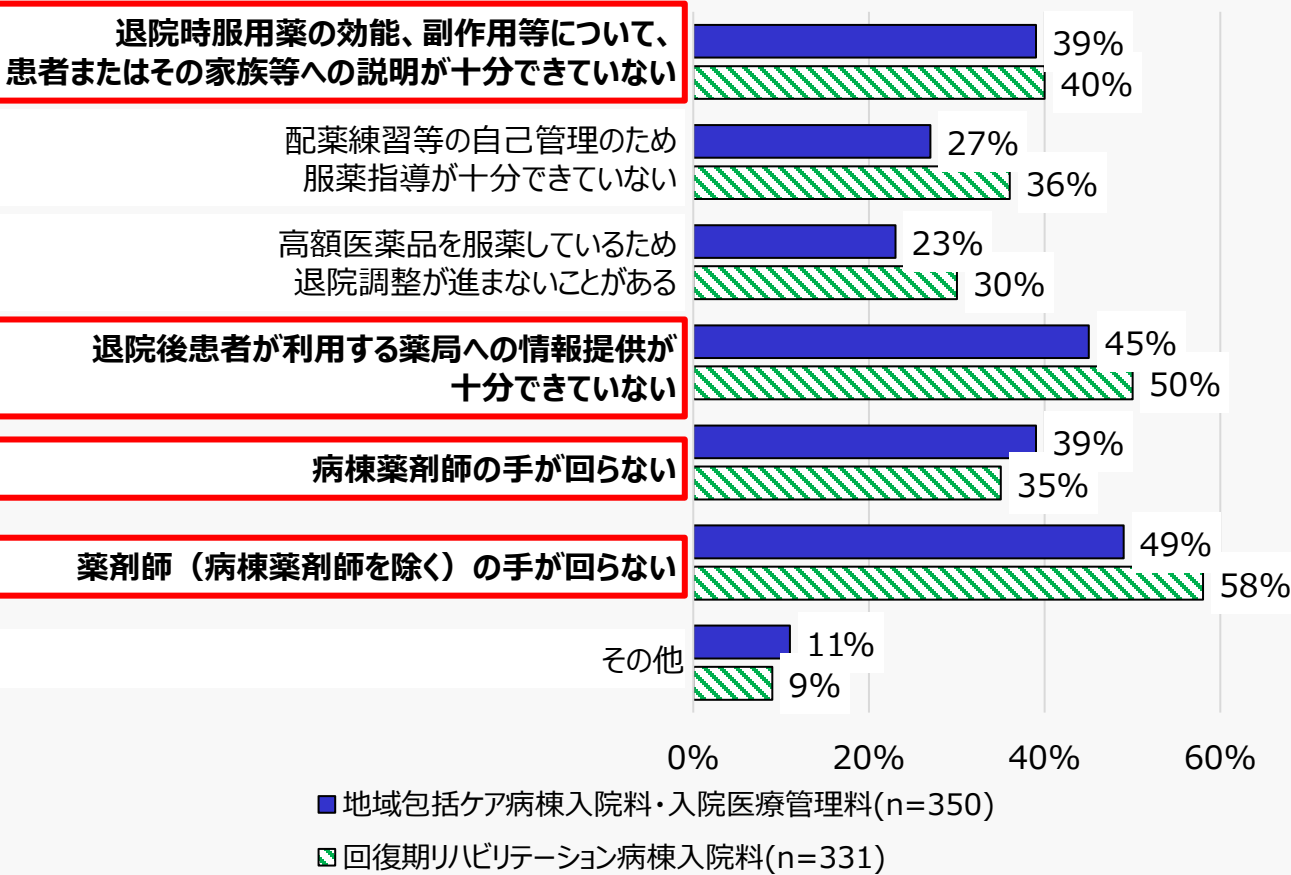
(参考) 令和5年3月29日「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会資料」を基に日医工（株）が作成

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

対象病棟が拡大されるか？

○回復期病棟での薬剤管理等で困っていること多かったのは、「薬剤師の手が回らない」で、具体的には「退院時の服薬指導が十分できていない」、「退院後の薬局への情報提供が十分できていない」が挙げられました。

病棟において薬剤管理や服薬指導で困っていること



医師委員意見

- ・病院薬剤師は慢性的に不足しており、病院薬剤師の確保に繋がるよう加算の評価を引き上げるべき
- ・病院の薬剤師不足の要因の一つとして薬局との給与差が挙げられている

報酬だけで給与差を埋めることは難しいが、病院薬剤師の処遇改善に向けたメッセージを示すべき

薬剤師委員意見

- ・回復期病棟は患者を地域に戻す役割が求められているが、薬剤師が配置できないことにより、退院後の服薬等に関する情報が途切れている状況は早く改善する必要がある

MPSコメント

- ・回復期病棟でも加算が算定できるように対象が拡大することも考えられます

(参考) 令和5年9月29日入院・外来医療等調査・評価分科会資料を参考に日医工(株)が作成

本資料は、2023年9月29日迄の情報に基づき、日医工(株)が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。



薬剤師の皆様に見て頂きたい

Oncology関連コンテンツのご紹介

会員登録
不要

「薬剤師のためのBasic Evidence」と「診療現場最前線」
2つのコンテンツをセットで閲覧することで
オンコロジー分野の基礎と実践を総合的に学ぶことができます。

薬剤師のためのBasic Evidence

各種ガイドラインの薬物療法を中心とし、薬剤師に役立つ内容を分かりやすくまとめています。
これからオンコロジーを学ぼうとお考えの薬剤師や、基礎的な知識を改めて整理したいという薬剤師にぴったりのコンテンツです。

診療現場最前線

さまざまな職種の先生方の取り組みを紹介しているため、処方意図から患者指導まで幅広く実践的な内容を知ることができます。
薬薬連携実践のヒントも得ることができ、連携にお悩みの薬剤師の参考になるコンテンツです。

■ アクセス方法



<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/oncology-contents/>



202300001296

<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/oncology-contents/>



日医工がお届けする **Stu-GE** は、

医療従事者の方のための医療行政情報サイトです。

ご覧頂ける
テーマ別
情報一覧

- 診療報酬改定関連の速報情報
- 診療報酬点数の施設基準や算定要件の情報
- 調剤報酬全点数情報
- 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の施設基準
- DPC/PDPS関連 新規薬価収載に係る包括評価対象外薬剤一覧
DPC公開データを用いた各種医療圏分析
- その他医療制度に関する情報

会員登録は、**無料**

いますぐ、会員登録サイトで登録を!!

会員特典1 → メールマガジンの受信

会員特典2 → 会員限定コンテンツの閲覧

スマートフォンで簡単登録

パソコン画面で入力



<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/registrations/index>